



インタビュー No.32



NPO法人山崎・谷戸の会
代表 相川 明子 さん



会のサイトはこちらから

保護者らが持ち回りで子どもたちを野外で遊ばせる青空自主保育グループ「なかよし会」の創設者。同時に山崎の元地主さんたちに農作業を習い、田畑の保全にも力を入れる。「この景色を後世に伝えていきたい」と同園の景観や昔ながらの田畑を守り継いでいる。



継続は力なり

1985年から青空自主保育で活動している中で、1990年に発表された鎌倉中央公園の整備計画に異を唱えて、市民参加の公園づくりを目指した「山崎の谷戸を愛する会」を結成しました。谷戸の生態系保全と子どもたちの環境教育の場の確保を主眼に活動を開始し、2004年に公園全面開園を機に、同園で活動する他団体と結集し「鎌倉中央公園を育てる市民の会」を発足しました。その4年後にNPO法人を取得し、現在の「山崎・谷戸の会」となりました。

現在は、谷戸保全のために7つの班に分かれ、①田んぼ班②畑班③雑木林管理班④農芸班⑤自然遊び班⑥生態系保全班⑦植物育成班として活動しています。作業の基本は、山崎の谷戸で農作業されてきた元地主さんの農法を継承し、伝統文化を後世に伝えることです。市内だけでなく、日本から里山が減ってきている現在、山崎の谷戸に残された身近な自然は大変貴重な存在です。ここでは、カエルの声、トンボの産卵、新緑のころの花の匂い、野鳥の飛び交う様など、五感で感じられる自然に身を置くことで、日常のストレスから解放される癒しの感覚を味わうことができます。これが私自身、持続の秘訣と言えますが、これらの活動をボランティアとして継続していくには、時代にあった工夫が必要とされているのも実感しています。

当会は公立小中学校の体験学習の場としても活用もされ、小学校5年生の稲づくりは20年以上も続いています。その中から長じて田んぼ班に入ったり、学習の場から当会の活動に参加する子どもがいたり。幼少期から青空自主保育で谷戸に通い続けてきた子どもの農作業姿は大人を凌ぐものがあります！

一方で、行政と協働で進めてきた「炭焼き」が、近隣住民の苦情により中止となり、今や「遺跡」として保存する方法を模索している現状が悲しいです。

この場所では、子どもから高齢者まで多世代のメンバーがお互いの「違い」と「共感」を楽しんでいます。これからも幅広い種類のメンバーが集い、体験、活動し、昔の里山を感じることができる身近な自然であり続けて欲しい、そして、この景色を永く後世に伝えていきたいと願っています。

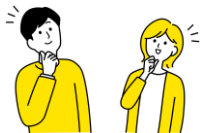


報告

市民活動講座「伝える、伝わる！パネル制作」開催しました

大きなパネルを前に「いったいどうやって作ろうか」と戸惑ったご経験はありませんか？自分たちの活動を皆に見てもらいたいのに、一枚のポスターに収めるとなると・・・？そんなお悩みを解決する「活動紹介パネル」を学ぶ講座を11月21日（木）に開催しました。

まずは、展示パネルやポスターを制作する際に参考となるデザインの基本原則「レイアウト」「写真・イラスト」「文字」「色使い」などの基礎知識のおさらいをしました。その後、団体さんにご協力いただいた数々の実際のパネルを実例見本として見ながら皆で意見を交わしました。



「目立たせたいところ、読ませたいところ、などメリハリが大切！に納得しました」
 「一人きりで作るよりも他の人の意見を聞く機会を作った方が良かったと思った」
 「今度は、実際に作る実践パネル作りの講座をお願いします」
 （参加者アンケートより）

次回、作ってみよう！

パネル制作講座

1月23日（木）開催予定



地下道ギャラリーや市役所ロビーなど、活動紹介のパネル展示の機会を活用し「伝えたい人に伝えたいメッセージが届くパネル」を実際に作ってみましょう！見やすい、目立つ！パネル作成のコツ・ヒントも併せてお伝えいたします。



第26回
かまくら市民活動
フェスティバル

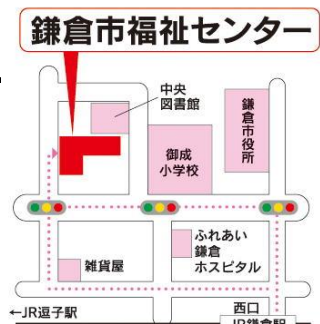


今年のフェスティバルでは
「パネルコンテスト」
を行います！

市民活動フェスティバルは、鎌倉のNPO団体の活動を広く市民に知ってもらい、交流をはかるためのイベントです。活動パネル展示や、フォーラム、物販などを毎年開催しています。どなたでも越しいただけます。活動を披露したい！出展したい！PRしたい！仲間を集めたい！とお考えの方はぜひご参加ください。出展申込などの情報は鎌倉市市民活動センターホームページで。お見逃しなく！

令和7年2月16日（日）10～16時 鎌倉市福祉センター

内容：登録団体によるバザー、ワークショップ、パネルコンテストなどなど・・・
 出展応募方法など詳細はホームページでご紹介していきます。





Q.NPOやNPO法人へ寄附した時に税金は優遇されないの？



A.NPOやふつうのNPO法人に寄附をしても優遇はありませんが
認定(指定)NPO法人への寄附ならば、税制優遇があります♥

認定NPO法人に寄附した場合…

個人

- ✓ 寄附金額に応じた所得控除もしくは税額控除 **最大約50%OFF**
- ✓ 現物資産（土地、建物、株式など）を寄付した場合に一定の要件を満たすと、みなし譲渡所得税が非課税となる
- ✓ 相続財産を寄付した場合は、その寄附分が課税対象外になる



法人



- ✓ 寄附金額に応じた特別枠での損金算入（経費処理）ができる

※鎌倉に主たる事務所を置く【寄附すると税が優遇されるNPO法人】R6.3.31現在

特定非営利活動法人鎌倉広町の森市民の会
特定非営利活動法人鎌倉市市民活動センター運営会議
特定非営利活動法人キャットネットかまくら
特定非営利活動法人鎌倉てらこや
特定非営利活動法人鎌倉あそび基地
NPO法人スローライフ障害者地域活動支援センター（指定のみ）

Q.認定になるには寄附実績が必要で難しいのでしょうか？



A.寄附実績が無くても市民からの支持を表す3つの基準のうち
県や市の条例個別指定（指定）を取得すれば認定になれます♥

1 相対値基準

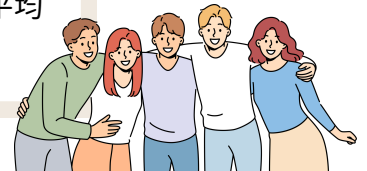
総収入に占める寄附の割合が5分の1以上であること

2 絶対値基準

寄附金の総額が3,000円以上である寄附者の数の合計数が年平均100人以上であること

3 条例個別指定基準

県または市が個人住民税の寄附金税額控除の対象として条例により個別に指定した特定非営利活動法人であること



市民から支持されている実績を『市民100人の署名』や『行政・企業との協働実績』などで証明すればクリアできます！

認定制度は、NPO法人への寄附を促すことによりNPO法人の活動を支援するために税制上の優遇措置として設けられています。この制度を活用できそうな団体さんもありますでも、その前に…認定を取るには、まずは法人格が必要です。

NPO法人格はNPOが契約したり財産を持ったり活動しやすいように阪神淡路大震災のボランティアをきっかけに生まれています

新規登録団体のご紹介(9~11月)

葛原岡遺跡保存会

葛原岡神社周辺及び山ノ内地区の住民をメンバーとする団体。鎌倉に長く暮らし、歴史と自然環境に強い関心を持つ住民の有志で構成されている。鎌倉の谷戸を愛し、霊峰富士の姿を愛でて暮らしている。この素晴らしい環境を後世に残したいという、強い志を持つ。

登録団体数：336団体 令和6年11月30日現在

※登録団体の登録内容（連絡先・代表者・活動内容等）に変更があった場合は、速やかにお知らせください。



第26回 かまくら市民活動フェスティバル

今年のテーマは「めざめ」

「何とかしたいな」「何か始めてみよう」という市民活動への「めざめ」、また出展団体同士の交流から新たな気づきが生まれる「めざめ」などそんな機会の創出になればと思います。

2月16日（日）10:00~16:00
鎌倉市福祉センター（JR 鎌倉駅西口徒歩3分）

【予定】

- ・SDGs フォトコンテスト展示&表彰式
- ・活動紹介パネルコンテスト
- ・映画「ガラスの地球を救え」手塚治虫
- ・落語
- ・パラスポーツ体験「ポッチャ」
- ・楽しいダンスステップ♪
- ・バザー・・・などなど



市民活動パネル展 出展団体募集 @市役所ロビー

鎌倉市役所1階ロビーで市民活動のパネル展示を行います。鎌倉の課題解決に取り組む市民活動をより多くの市民の方々に紹介するよい機会です。

展示期間：2月4日（火）～10日（月）
鎌倉市役所1階ロビー

募集团体数：5団体
応募締切：1月17日（金）

※応募多数の場合は抽選とさせていただきます。
※抽選結果は1/22（水）迄にメールでご連絡します。

年末年始休館のお知らせ

鎌倉・大船両センターともに令和6年12/29（日）～令和7年1/3（金）の間は休館となります。令和7年度4月利用の会議室予約は1/4（土）開始です。皆様、良いお年をお過ごしください。

第6回 鎌倉SDGs フォトコンテスト作品募集！

人類がこの地球で暮らし続けていくために、2030年までに達成すべき目標、それが持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs）です。SDGsの17のゴールと照らし合わせて社会課題を切り取ってみませんか！



フォトコン専用サイトはこちら

応募締切：1月31日（金）

申込み：メールで sdgs@npo-kamakura.com

応募詳細：<https://npo-kamakura.com/sdgs/>

☆優秀作品は市民活動フェスティバル会場で展示・表彰いたします☆

第2回 懇話会「高校生ボランティアを考える」

登録団体の交流の場「懇話会」。
今回のテーマは「高校生ボランティアを考える」

1月11日（土）10:00~12:00
NPOセンター鎌倉2階会議室

夏休み高校生ボランティア体験の受入れをお考えの団体の方や「担い手を育む場としてはこうした方がいいのでは」などのご提案、ご意見をお持ちの方、ぜひ、ご参加ください。

市民活動団体のためのマネジメント講座 「プレスリリースの書き方」講座 メディアに活動をのせよう！

タウンニュース社の方を講師にお招きし「プレスリリース」のコツを教えてください。数多ある情報の中から記者が取材したくなるものとは何か？効果的な広報とは？などを学びましょう。

1月23日（木）17:30~19:00
NPOセンター鎌倉2階会議室

講師：加藤 裕人（かとう ひろと）氏
（株）タウンニュース社 藤沢支社鎌倉編集室



あらゆるメディアとコンテンツで地域をつなぐ総合情報企業
タウンニュース社です。



鎌倉市
市民活動センター

NPOセンター鎌倉：〒248-0012 鎌倉市御成町18-10 鎌倉市役所 第2分庁舎
TEL/FAX：0467-60-4555

NPOセンター大船：〒247-0061 鎌倉市台1-2-25（たまなわ交流センター1階）
TEL/FAX：0467-42-0345

NPOセンターのメールアドレスは一つに。鎌倉も大船も同じメールアドレス rep@npo-kamakura.com